



林業試験場公開講座
林業試験場道東支部公開講座「森と木の不思議を探る！」が同場で開かれ、親子連れなど19人が参加しました。林業試験場と町名木選考委員会が主催しており、共同での開催は2年目となります。始めに山ぶどうのつるや桜の実などを染料にした染物に挑戦。真っ白いハンカチを自分の好きな色に染め、好きな模様を描きました。兄妹3人で参加した名和樹輝くん、美琴さん、祥太郎くんは「自分の思ったとおりの模様、色ができた。楽しかった」と感想を述べました。場内散策では、人の手が加えられていない森の中を歩き、子供たちは木の実や昆虫を見つける度に歓声をあげていました。



再任された飯田泰雅職務代理者



再任された浦山兼一教育委員長

教育委員長に浦山氏を再任
町教育委員会は、9月29日、定例会を開き、教育委員長に浦山兼一さんを再任しました。また、職務代理者には飯田泰雅さんが再任されました。いずれの任期も平成28年9月30日までです。現在、新得町教育委員会は浦山兼一委員長、飯田泰雅委員、湯浅健委員、太田百美子委員と斎藤仁教育長の5人で構成されています。



初秋の夜空に4200発の花火
新得花火大会「輝一夜（かがやきひとよ） 夢見草」（実行委員会主催）が5日、町営球場で開催されました。町内外から約2800人が訪れ、初秋の夜空を彩る華やかな花火に歓声をあげていました。打ち上げ花火は昨年よりも500発多い4200発が打ち上げられました。午後7時から打ち上げがスタート。2部構成のプログラムで約1時間、次々に花火が打ち上げられ、ランドフィナーレの大スターマインでは約4分間に1000発の



特設スクリーンに映し出される子供達の顔写真

会場には生ビールやお好み焼き、焼きそばなどが出店し賑わっていました。打ち上げ前にはマジックショーや新得中学校吹奏楽部と狩勝高原太鼓の合同の演奏クラブメット北海道スタッフのGOによる華麗なダンス、町内の幼稚園、保育所（園）、小・中学生の子供たち約600人の写真が会場の特設スクリーンに映し出されるなど多彩な催しに盛り上がりを見せました。



ライブを行った宇井さん

小さな森の映画祭 第20回 SHINTOKU 空想の森映画祭
第20回 SHINTOKU 空想の森映画祭（実行委員会主催）が9月19日～23日に新内ホール、町公民館を会場に開かれました。例年新内ホールのみで行われていたが、20回を迎えるということで公民館でも開催となりました。18日に行われたオープニングセレモニーでは、第1回から出演している宇井宏さんによるライブが行われ、その後は料理を持ち寄ったパーティーも行われました。「いろいろな出会いがあつて20年間続けてこれた」と主催者の藤本監督は話し、「小さな映画祭だから製作者や監督と近くで接することができる」と魅力を語りました。



集めて社会に貢献 屈南小児童が町社協にリングブルを寄贈
屈南小学校の児童たちが集めたリングブルの贈呈式が9月8日、同校で行われました。この取り組みは平成16年から行われており、校内に収集箱を置いて、家庭から集めているほか、協力を依頼した町内の5店舗から収集を行っています。同校を訪れた町社会福祉協議会の赤木英俊会長に児童会長の西田美奈さんら児童代表が半年分の約15kgのリングブルを手渡しました。赤木会長は「皆さんからいただいたリングブルは通算61kgで車いす1台分に相当する。これからも善意の継続をお願いします」とお礼を述べました。



学んで美味しく調理 道産牛肉セミナー、学ぼう！作ろう！道産牛肉
「道産牛肉セミナー、学ぼう！作ろう！道産牛肉」（北海道牛肉消費拡大強化実行委員会主催）が9月30日、屈南小学校5年生と6年生の17人が参加して行われました。この取り組みは生産者の話を聞き、料理実習を行うことにより、食の大切さを学び、感謝の心を育むことが目的です。今回は、生産者として関谷達司さんからトムラウシジャー牛の話の聞き、料理研究家の東海林明子先生と「カットステーキのサラダ」など3種の料理を作りました。お肉が焼ける音を聞くと児童は「あ〜」と歓声をあげ、楽しみながら料理実習を行いました。



交流しながら施設周辺をきれいに 十勝男性保育士連絡協議会が施設周辺清掃
十勝男性保育士連絡協議会の施設周辺清掃が10月4日に行われ、管内各地から男性保育士10名が集まりました。この清掃活動は毎年行われており、実施場所は管内各市町村のロケーションで決めています。今回は、屈南保育園の周辺を周り、6袋分のゴミを集めました。ゴミを集めながら楽しく交流をし、更に親睦を深めているようでした。